

5 親子関係

1) 親子関係

「家族との関係が良好である」と回答した者の割合は、4か国とも9割前後と高い。「家族との生活に満足している」も、日中韓では8割以上、米国では8割の高い肯定率である。一方、「親の期待にプレッシャーを感じる」では、米国と中国は6割を超えているが、日本は3割と低い。

親子関係を見るために、「家族との関係が良好である」など6項目を挙げ、それぞれに「とてもそう思う」「まあそう思う」「あまりそう思わない」「全くそう思わない」の4段階で答えてもらっている。図5-1～図5-6はその結果を示したものである（無回答があるため、合計は100%にならない。以下も同じ）。

「家族との関係が良好である」について、「とてもそう思う」と答えた割合が、中国は6割強に達し、4か国中最も高い。次いで米国54.4%、韓国45.0%、日本40.2%の順となっている。「まあそう思う」まで加えると、中国95.6%、韓国91.5%、日本89.5%、米国87.0%となっている（図5-1）。

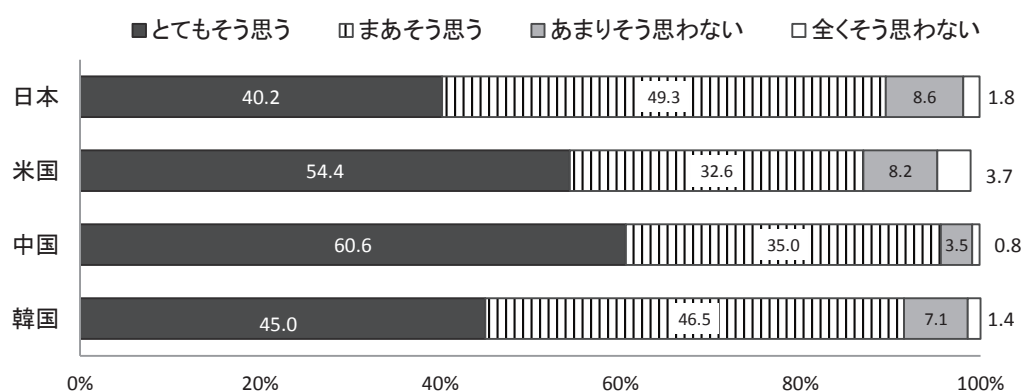


図5-1 家族との関係が良好である

「親（保護者）は私のことを理解している」では、「とてもそう思う」と回答した者の割合が、4か国とも3割台となっているが、「まあそう思う」を合わせると、日本、中国、韓国は8割を超えたが、米国は7割に止まっている（図5-2）。

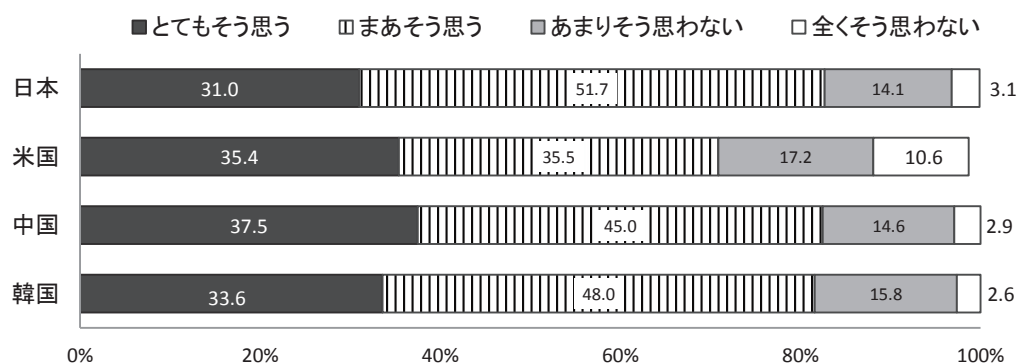


図5-2 親(保護者)は私のことを理解している

「家族との生活に満足している」では、「とてもそう思う」と回答した者の割合が、米国と中国は5割強で、日本と韓国は4割弱である。「まあそう思う」まで加えると、中国91.4%、韓国86.0%、日本84.8%に対し、米国は79.8%と、他の3か国に比べてやや低い（図5-3）。

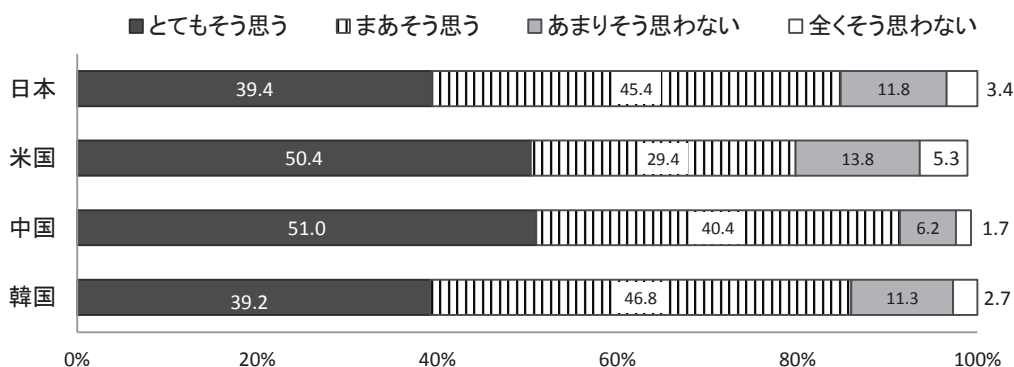


図5-3 家族との生活に満足している

「親（保護者）を尊敬している」では、「とてもそう思う」と回答した割合が、米国は7割強で、突出して高い。これに対し、日本は4割弱と、4か国中では最も低い。「まあそう思う」を合わせると、中国95.8%、米国92.2%、韓国87.6%、日本は82.9%となっている（図5-4）。

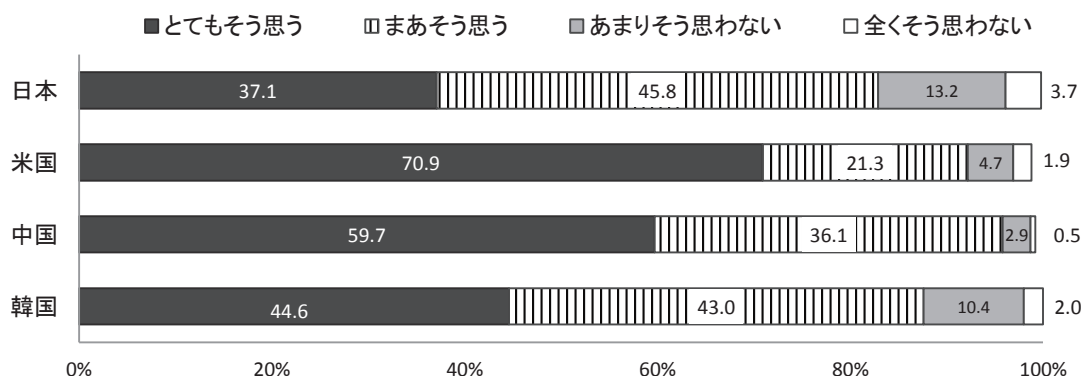


図5-4 親(保護者)を尊敬している

「家にいると落ち着く」では、「とてもそう思う」の割合が、4か国とも約5割を占め、各国に大きな差はみられない（図5-5）。

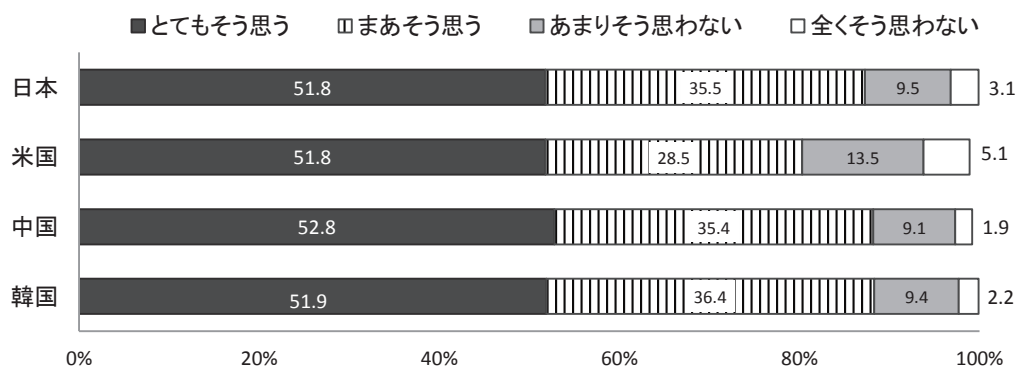


図5-5 家にいると落ち着く

「親の期待にプレッシャーを感じる」では、「とてもそう思う」と「まあそう思う」と回答した割合の合計をみると、中国 63.6%、米国 62.0%、韓国 52.2%に対し、日本は 29.5%と最も少なくなっている（図 5-6）。

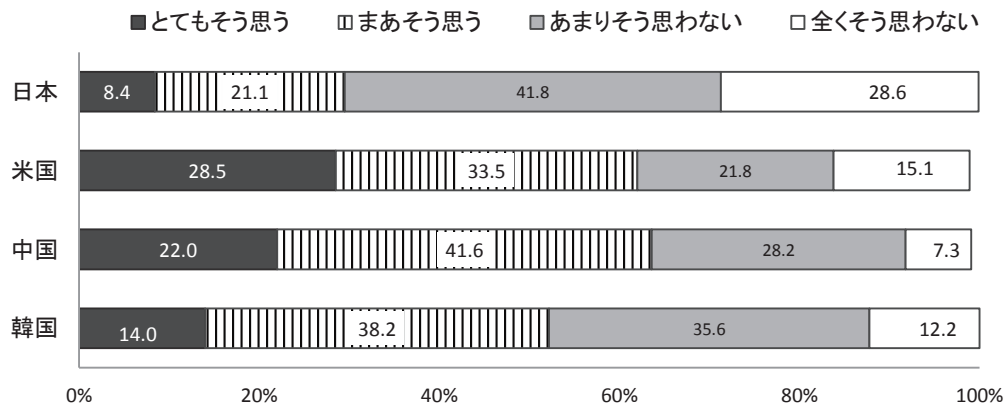


図5-6 親の期待にプレッシャーを感じる

2) 親の老後の世話について

「どんなことをしてでも自分で親の世話をしたい」という割合は、中国が9割弱で、突出して高い。米国と韓国は5割台であり、日本は4割を切っている。

調査では、「親が高齢となり、あなたが世話をすることになった場合、どのようにしますか」と尋ねている。図 5-7 はその結果を示したものである。これをみると、「どんなことをしてでも自分で親の世話をしたい」と回答した者の割合が、中国は9割弱に達しており、米国と韓国は5割台である。これに対し、日本は4割を切っている。一方、「経済的な支援をするが、世話は家族や他人に頼みたい」と回答した者の割合が、日本は2割強で、米国がそれに続き、中国と韓国では1割未満の低い数値である。また、韓国では、4人に1人が「親自身の力にまかせる」と回答し、他の3か国と大きな差がみられた。なお、日本では、3割強の高校生が「わからない」と回答している。

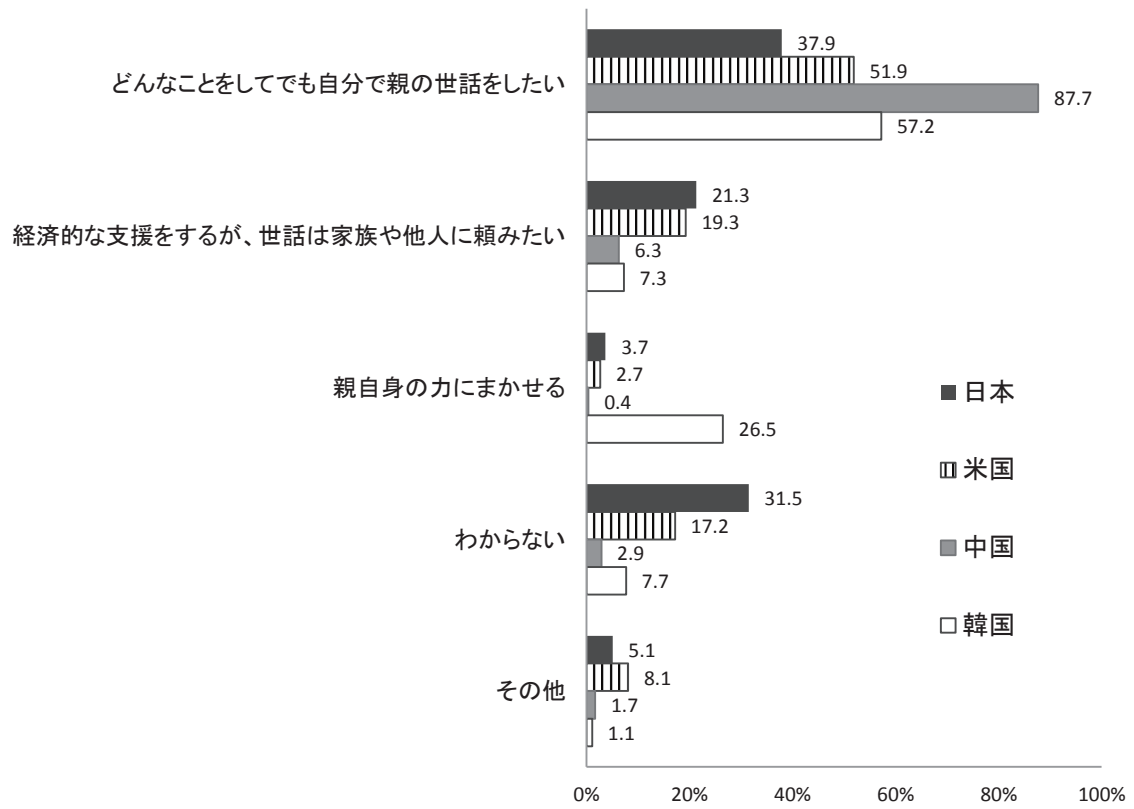


図5-7 親が高齢となり、あなたが世話をすることになった場合、どのようにしますか